令和　年　月　日

　　学校応援団・保護者の皆様

○○市立○○小学校

校　長

「○○小学校応援団ボランティア活動の手引き」の

配布について

厳しい暑さが続いておりますが、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃よりコミュニティ・スクール学校応援団の活動に対しまして、ご理解とご協力を頂きお礼申し上げます。

　さて、ボランティアの活動に際しまして、皆様に再度確認をしていただきたく、○○小学校応援団ボランティアの手引きを配布いたします。

内容も一部変更、追加になっておりますので、よくお読みいただき、今後のボランティア活動にお役立てください。

引き続き、子どもたちの豊かな学びのために、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

|  |
| --- |
| 問い合わせ先  ○○小学校  地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ　○○　○○  ℡　０００―００００ |

○○小学校応援団ボランティア活動の手引き

**１　○○小学校の学校支援ボランティアとは**

○○小学校では学校運営協議会（コミュニティ・スクール）に指定される以前から，子供たちの教育のために役に立ちたいという熱い思いを持って，学習活動や環境整備の活動に多くの方々がボランティアとして参加してくださっています。本校の学校支援ボランティアには「ゲストティーチャー型」「学習アシスタント型」「施設メンテナー型」「環境サポーター型」の４タイプがあります。

①ゲストティーチャー型

　　　学習支援を目的に，児童生徒の学習活動を直接指導するタイプです。授業の一部で講話や技術指導を担当するので，ゲストティーチャーやワンポイント講師，地域講師，社会人講師などとも呼ばれています。専門的な知識が必要です。【例:　お話し隊等の読み聞かせ，体育・図工・社会・総合等への支援】

②学習アシスタント型

　　　学習支援を目的としていますが，学習指導に中心的に関わるのではなく，教師等の指導を側面から援助するタイプです。　　　【例:　学習支援部会や体験活動支援部会等の活動，】

③環境メンテナー型

　　　学校環境整備などの支援のために，専門性を発揮しながら施設・設備の維持・管理を担うタイプです。専門業者に発注するまでもないが，ある程度の専門的な知識や技術をもつ方による活動になります。

【例:　おやじの会や環境整備支援部会等の活動，池の補修，通信の発行】

④環境サポーター型

　　　環境支援を目的としていますが，専門的な知識や技術がなくとも,誰にでもできる活動を行うタイプと言えます。　　　　　【例:　子育て支援部会や安全支援部会・広報部会等の活動，校舎内清掃・草取り】

活動の特殊性（専門的知識・技術が必要）

活動の一般性（だれにでもできる）

②学習アシスタント型

コンパス・カッター支援鋸・釘打ち支援

ミシン・調理実習支援

絵の具・彫刻刀支援

町探検引率補助

水泳安全確認補助

体力テスト補助

朝顔リース作り補助等

④環境サポーター型

登下校時の見守り

参観日の未満児保育

花壇整備・畑の草取り

家庭科室の包丁研ぎ

校舎の窓ふき　等

③環境メンテナー型

池の補修

植木の剪定

緑のカーテン設置

プール清掃

校庭への塩カルまき

ブログ・ふたすけ通信

一輪車の点検整備　等

①ゲストティーチャー型

星の学習・水の学習

読み聞かせ

町探検講師

醤油・豆腐・干し芋作り

点字・福祉体験指導

華道・茶道・琴指導

野菜、米作り指導

水泳・器械体操指導

ナイトキャンプ運営

そろばん指導

戦争体験講話

水墨画指導

合唱指導　等

環境支援

学習支援

子供の学習の様子も見ながらお手伝いができるんだ。

通学路のパトロールだったらできる。

○○の歴史のことならわかるよ。

花壇の整備ならできそうだ。



**２　こんな気持ちで始めてみましょう**

**①「無理は禁物です」**

　　できる人が，できるときに，できることを，できる範囲で支援していきます。

**②「子どもや学校の力になりたいと思ったときがチャンスです」**

　　他人から強制されるのではありません。自発的な意志に基づいて行われます。

**③「ぜひ，みなさんのこれまでの経験を子供たちに伝えてください」**

　　ボランティア自身の経験や専門性を生かす活動です。

**④「地域と学校，住民と子ども，住民同士が分かり合えます」**

　　地域コミュニティを活性化する一つの方法です。

**３　学校支援ボランティア活動で期待される効果**

**○○小学校の子供たちにとって**

・地域の方々との活動をとおして，社会性やコミュニケーション能力を育み，豊かな人間性を　培うことができます。

・地域の方々の専門的な知識や技能に触れることにより，学習意欲が喚起され，自ら問題を解　決しようとする資質や能力を育みます。

**参加される地域の皆様方にとって**

・自分のもつ専門的な知識や特技を子供たちに還元することで，自分の中の教育力に気づき，

ものの考え方が深まり，人間性が豊かになります。

・学校での子供たちの様子がわかり，学校や子供たちとのつながりがもてます。

・向上心が芽生え，学習意欲が喚起され，地域住民として子供たちの未来に対する責任を感じ　ることができます。

**○○小学校にとって**

・地域の方々の専門的な知識や技能を生かした身近で，内容豊かな授業が展開できます。

・学校や子供の様子を地域の方々に理解してもらえ，開かれた学校になり，学校と地域を強く結ぶきっかけとなります。

**４　学校支援ボランティアの約束ごと**

よりよいボランティア活動にしていくために，次のことに注意して活動しましょう。各項目についてぜひご理解をいただき，学校や子供たち，参加される皆様方にとって有意義な活動となるようご協力ください。なお，ご理解をいただけない場合は，やむを得ず学校支援ボランティアをお断りしなければならないこともあります。

　　**心がけましょう**

□「子どものために，社会のために活動する」という気持ちを大切にしましょう。

□「子供とともに学ぶ気持ち」を忘れずに！失敗をおそれず，無理のない取組をしましょう。

□ 明るいあいさつをしましょう。

□ 子どもには，分かりやすく，ていねいな言葉づかいで接しましょう。

□ 自信をもって大きな声で話しましょう。

□ 子どもの良いところを見つけて，積極的にほめてあげましょう。

□ 教えることは少なめにして，子供が考える時間を多めにとりましょう。

□ 子どもの様子をよく見て，公平・公正な態度で接しましょう。

□ 分からないことはそのままにしないで，必ず先生や指導者に相談しましょう。

　　**気をつけましょう**

□ 子どもの安全を第一に考えて活動しましょう。

□ トラブルを未然に防ぐためにも適切な言葉づかいをしましょう。

□ 事故や災害時の連絡方法や指示・命令の手順を確認しておきましょう。

□ 約束の時間を守り，遅れる場合は必ず電話等で連絡をしましょう。

□ 学校の教育目標や方針などをよく理解して活動しましょう。

□ 活動についての報告・連絡・相談はボランティア活動においても基本と考えましょう。

**ぜひ守ってください**

□ どんな場合でも苦痛を与える暴言や体罰は許されません！

□ 活動の中で子供や先生の個人情報にふれることがあります。知り得た秘密は，たと

え家族や仲の良い友人であっても絶対に外部にもらさない！

（個人の学習や運動の状況、身体的特徴や家族に関すること等）

□ 学校名，及び学校運営協議会名やそれに関わる名称を用いて，学校応援団活動の記事や写真，個人的な見解等をSNS等に載せたり，学校名のタグを付けて発信したりしない！（学校長及び学校運営協議会長の承諾を得た場合は除く）

□ 個人的な活動を行うにあたり，学校名，及び学校運営協議会名やそれに関わる名称を用いることはしない！　（学校長及び学校運営協議会長の承諾を得た場合は除く）

□ 学校が発するお便り等の文章や写真を，無断転載しない！

□ 学校や先生・ボランティアに対する批判や批評を子どもの前では絶対に言わない！

□ 政治・宗教・営利目的での活動はできません。思想的にも中立で！

**５　活動前に学校と子供について知っておきたいこと**

（１）学校の１日の流れ

　　　学校から配られる，１日の日課表を参考にご覧ください。授業の他にも様々な活動が組まれ過密なスケジュールとなっています。そのため打合せなどが出来る時間は限られています。

（２）子供たちの特徴　～今の子どもたちって，どんな様子なの？～

学校支援ボランティアとして活動する場合，ちょっとした心の準備で気持ち良く活動することができます。子どもにより個人差はありますが，それぞれの学年段階で，その様子は違います。今の子どもたちの様子を知っておくと，活動するときにあわてることも少なくなります。

小学校低学年

・ 元気で活動的で，男女の区別なく仲良く遊べます。

・ 静かになるまでに時間がかかります。

・ 無関係に思える質問でコミュニケーションをとろうとします。

・ 準備や作業，後片付けをするのに時間がかかります。

小学校高学年

・ 落ち着いて人の話を聞き，自分の興味・関心のあることについて，積極的に質問をします。

・ 男女の体や心に変化が現れ，お互いを意識し始めます。

・ 説明を聞き，活動の内容をくわしく理解することができます。

・ 少し難しいことにチャレンジしようとします。

配慮が必要な子が，学級に在籍しているときには

・ 先生からその子どもの様子をよく聞き，支援の方法や気を付けることがらをよく話し合っておきましょう。 支援するボランティア全員が子どもの特性や支援の在り方等について理解しましょう。

小学校中学年

・ 活発に活動し，それぞれの個性を発揮する時期です。

・ 仲間意識が芽生え，学級やグループなどの組織的な活動にも意欲的に取り組みます。

・ 他の人の行動に対して批判的になってしまう子どももいて，一見，行動が乱暴に見えることもあります。

・ 体験活動などにも主体的に参加するようになります。

（３）こんなことも知っておいてください

**学校にはねらいや計画があります**

学校には，「こんな子どもに育ってほしい」という願いを込めた学校教育目標があります。これは，地域や子どもの実態を踏まえ，学校ごとに決めており，年度の始めにお知らせします。また，それぞれの教科や活動にもねらいや計画がありますので，学校支援ボランティアとして活動する前に確認しておきましょう。

**学校は，新しい教育の流れに対応するために，変革が求められています。**

令和２年度から学習指導要領（教える内容や方法の基になるもの）が変わりました。地域とのつながりを大切にする一方で，外国語やプログラミング学習など教えなければならない内容も増えており，時間の配分にも注意を払っています。働き方改革の視点からも教育活動の見直しを進めていますので，これまでとちがったボランティア活動のあり方が求められる場合があります。

**学校は子どもの安全を守っています**

学校には「子どもの安全確保」という使命があり，学校関係者以外の突然の来校者・訪問者については，安全を確かめるようにしています。西小学校では来校者に氏名・所属・用件などを玄関で記入してもらい，名札をつけて校舎内に入ることになっています。来校したときは，まず職員室，ボランティアルームなどの活動拠点となる部屋に立ち寄るようにしましょう。

**学校の教員と話をする時間は限られます**

学校には決められた時間の流れ（日課）があり，いつでも教員と話ができるわけではありません。教員と直接話をしたい場合は，昼休みか放課後だと比較的時間をとることができます。ただ，放課後も会議や研修，児童会活動の指導などがあるため，思ったように時間がとれない場合もありますので，必ず事前に連絡をした上で訪問するようにしましょう。

**連絡は電子メールやＦＡＸを活用しましょう**

教員が職員室に在室できる時間は本当に限られています。電話で対応することが難しい場合もあるので，確実に連絡をとりたいときは電子メールやＦＡＸを活用するのがよいでしょう。教員から折り返し返事をもらうことを考慮して，時間の余裕をもって連絡しましょう。

**学校の都合で，活動がキャンセルになることもあります**

学校の授業や活動は，必ずしも計画どおりに進むとは限りません。子どもの実態や当日の天候，突発的な事情などにより，授業の進み方が前後することがあります。そのためボランティアとして活動する日が急にキャンセルとなることがありますので，心得ておきましょう。

**活動を希望しているのに，声がかからないこともあります**

ボランティアの希望をしても，学校のニーズによりボランティア活動を調整するため，自分の希望どおりの要請がない場合もあります。得意分野だけにこだわらずに，できることをできる範囲で支援していこうという気持ちが大切です。

お待ちしています！地域の皆様方のご支援。

「○○小の子供たちの笑顔のために」

